

あいな 里山公園情報

～国営明石海峡公園神戸地区だより～

国営明石海峡公園のホームページをリニューアルいたしました。神戸地区の情報だけでなく、既に開園している淡路地区の情報や2つの公園の関係などをまとめていきますのでインターネットを見る事が出来る環境をお持ちの方は、是非一度、新しくなったホームページをご覧ください。

尚、ページの中にはこの「あいな里山公園情報」も創刊号から掲載されており、メールでの配信も行っています。現在、郵送にて配信させていただいておりますが、紙の使用による環境への負担軽減と経費の削減のため、メール配信が可能な方には、出来る限りメール



ルへの変更をお願いしておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

尚、変更の手続きについては表紙右下にある連絡先にいずれかの手段にてご連絡いただければ、対応させていただきますので、よろしくお願いいたします。

次回の発行は5月上旬頃の予定です

<http://www.kokueiakashi.go.jp>

あいな里山公園における環境教育とは ～様々な環境教育教材(その2)～

国営明石海峡公園神戸地区では、稲作をテーマとしたいくつかの環境教育プログラムが実践されている。北区役所まちづくり推進部では地元藍那の方々の指導によってシラベシの棚田で「親子コメづくり道場」を、農都共生ネットこうべでは「田んぼの楽校」を、また、あいな里山ジオパークも不耕起無農薬無化学肥料による餅米づくりを実践している。

環境教育の実践事例でコメづくりを行なっている学校として龍華小学校(大阪府)がある。これは5年生の社会科『わたしたちの食生活と農業』という単元に関連して行なわれているものであるが、ここでは、子どもたちがコメ作りについて興味関心を高めるために、一人が一つのバケツで米づくりをしている。栽培には強い品種である古代種の赤米を使い、また安全な食品について考えるために無農薬無化学肥料による栽培方法をとっている。こうしたねらいのもと、子どもたちは自分のバケツで米を育て、「うまく育つだろうか」「何粒ぐらい米がとれるだろうか」という不安と期待を抱きながら意欲的に活動を行ない、自ら「土づくりはミミズがいる方がよい」と理解したり、田植え後は「バケツの中にカプトエビを入れて草をはやさないようにしよう」などの試行錯誤を試みている。この実践の成果としては、一人ひとりが自分のバケツで米をつくっていく過程で、農薬や化学肥料を使わないことで食物連鎖の関係を学び、安全な食糧生産について気づく。さらに、堆肥や藁を利用した体験によって利便さばかり追求する現在の生活を見直し、地球規模の健全な環境について考える強い動機づけになっていることがあげられる。山間部に位置する熊野川小学校(

和歌山県)では、「田んぼ水族館」を活用した実践活動が展開されている。この実践は、自然との共生を考える態度を育て、各教科にクロスした環境教育を行ない、五感を用いた原体験で感性を培い、自然や環境の認識を育てるという三つの柱で取り組まれている。近年、メダカ、ハッチョウトンボなどの水生生物が生息していた田んぼが休耕田となって陸地化が進み、生物の生息域である水面が縮小し生物種が減少している。この田んぼ水族館では、全校児童が月に一度泥んこになりながら草取りや池づくり、自然遊びなどを行ない、さらに自然観察やコメづくりを実践することで、自然のために働き、かつ自ら楽しむという共生の体験をしている。この「田んぼ水族館」という名称も、水の中で泳ぐメダカや泥煙をたてて動くドジョウを見た児童により命名されたものである。この学校では、田んぼ水族館を環境教育の核として位置づけ、ここから多くの具体的な学校教材を導き出している。

国営明石海峡公園神戸地区は、都市近郊であるにもかかわらず、休耕田となった棚田やため池が数多く存在し、これらを活用することによって「稲作体験」や「自然観察」が実践でき、さらにこうした「自然との触れ合い」を通して、生態系や食物連鎖、食の安全、環境に配慮した持続可能な社会について考えることのできる、感性豊かな子どもたちを育てるための環境教育プログラムを開発することができるだろう。そのプログラムは、「親子コメづくり道場」「田んぼの楽校」「あいな里山ジオパーク」などと連携してつくられることが期待される。

甲南大学環境総合研究所 所長 谷口文章

【表紙写真の紹介】①公園事務所による「農家のにわ」の再現イメージ、②プレゼント・ガーデンによるアンクルン演奏、③長田の宮神撫太鼓による演奏、④市民活動団体紹介、⑤SUMAヨッチョレ会によるよさこい踊り、⑥市民活動団体出店のようす

トピックス

- 第8回あいな里山まつり
- 市民活動と里山管理
- ホームページリニューアル
- あいな里山公園における環境教育とは

初春のあいさつ

神戸地区最大のイベント「第8回あいな里山まつり」が去る3月3日、盛大に開催されました。不定期の開催にもかかわらず、回数を重ねるごとに、お越しくださる人数も増えていっています。

このあいな里山公園情報も、今年度の発行はこれが最後になります。この1年を振り返ると、園内では、棚田ゾーンの造成工事が本格化し、また、アクションリサーチも始まって、変化の1年だったと思います。ですが、開園に向けて、これからは毎年が激動の1年になっていく事と思います。

来年度も、変化を楽しみながら、共に公園づくりに協力いただけますよう、お願い申し上げます。

製作・発行

国営明石海峡公園事務所 神戸地区現場事務所
〒651-1104 神戸市北区山田町藍那字伝庫14
TEL(078)593-3943 FAX(078)593-3944
kobe@kokueiakashi.go.jp
<http://www.kokueiakashi.go.jp>



